

一目で分かる浸水ここまで 阿賀野市京ヶ島地区

～最大規模の洪水を想定した浸水想定区域図を基に
(まるごとまちごとハザードマップ) 標識設置、水防災に関する意識付け～

阿賀野市では昨年の下里地区に引き続き、京ヶ島地区で住民が、「まるごとまちごとハザードマップ」標識看板を地区内の電柱6ヶ所に設置します。

この取り組みは、計画段階から設置にいたるまで、阿賀野川河川事務所（河川管理者）と阿賀野市（自治体）、京ヶ島地区住民（自治会）が協働しながら取り組んできました。

まちなかの見える所に看板を設置することで、日常的に洪水への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及が進み、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋がることを期待しています。

日時	平成30年3月24日（土）
内容	避難訓練 9時00分から まるまちHM標識設置 11時00頃から
場所	京ヶ島ふれあいセンター（住所：新潟県阿賀野市京ヶ島608）
参加	阿賀野市京ヶ島地区自治会 約50名（予定） 阿賀野市市役所 阿賀野川河川事務所

投げ込み先

新潟県政記者クラブ
新潟政記者クラブ

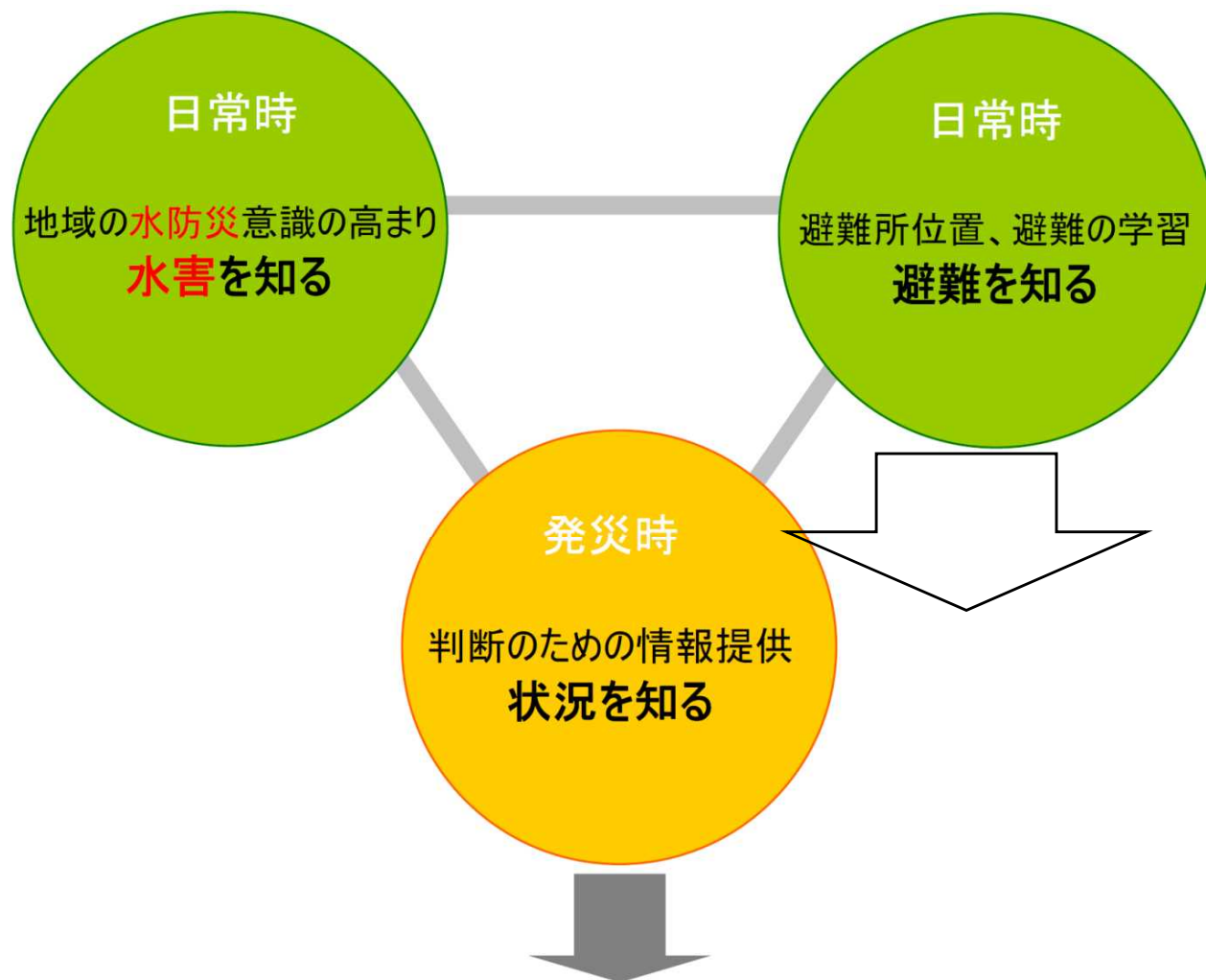
【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所
副所長(技術) 保要 牧央
調査課長 高橋 明
〒956-0032 新潟市秋葉区南町14-28
電話 0250-22-2211(代)
事務所 HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>
事務所 twitter https://twitter.com/mlit_aganogawa



まるごとまちごとハザードマップとは

水災害の浸水深や避難所等を標識として生活空間である「まちなか」に表示することで、日常時は、水防災への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及・浸透を図り、発災時には、自らの命を守るための判断情報となり、住民の主体的な避難行動を促すとともに安全かつスムーズな避難につなげる。



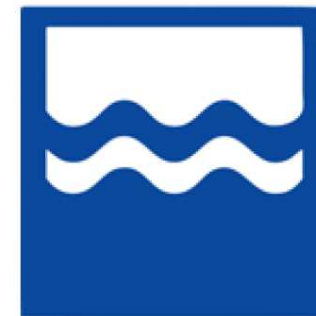
安全かつスムーズな避難（住民の主体的な避難行動）

● 洪水・内水

〔図記号の意味〕

洪水：河川が氾濫した状態を示す。

内水：内水により浸水した状態を示す。



● 高潮

〔図記号の意味〕

高潮により浸水した状態を示す。



● 避難所

〔図記号の意味〕

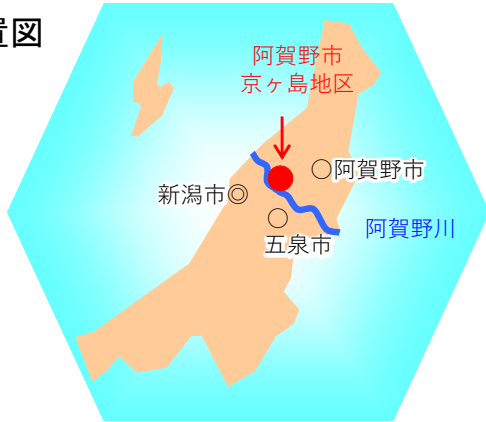
災害発生時安全な避難所を示す。



阿賀野市京ヶ島地区 まるごとまちごとハザードマップ

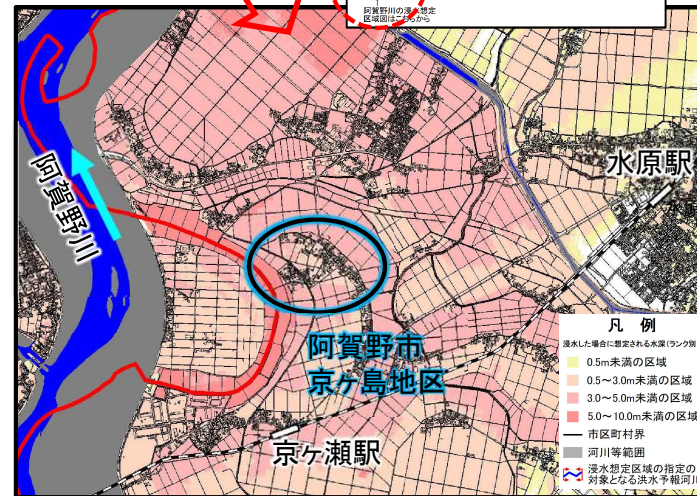
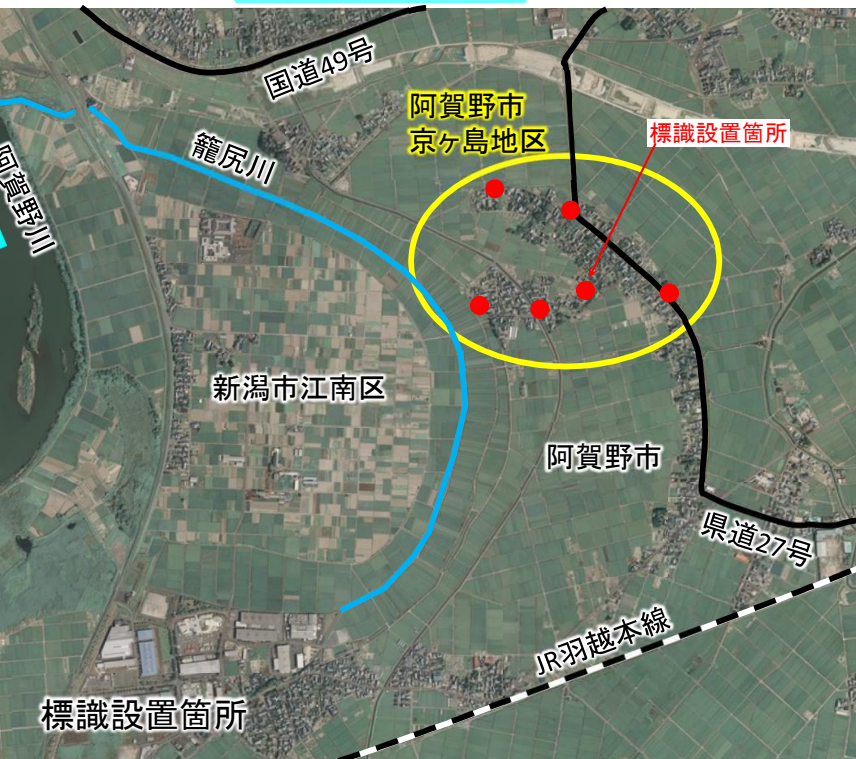
- 阿賀野市京ヶ島地区住民、阿賀野市、阿賀野川河川事務所が協働し、阿賀野川沿川では初となる「洪水の浸水想定深さを示した「まるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)標識を阿賀野市京ヶ島地区内に設置。
- まちなかの見える所に看板を設置することで、日常的に洪水への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋がることが期待されます。

位置図



まるごとまちごとハザードマップ(まるまちHM)は、主に図面などで活用される洪水ハザードマップに対し、居住地域をまるごとハザードマップに見立て、生活空間である“まちなか”に、想定される浸水深や避難所の情報などを標示するものです。

標識QRコードをスマホ等で読み込むと、周辺の浸水想定区域・浸水深がわかるHPへアクセス



阿賀野川浸水想定区域図 http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/sonae/sinsui/agano_main.html

阿賀野市京ヶ島地区 まるごとまちごとハザードマップ

○ 避難対応の必要性が高い阿賀野市京ヶ島地区で、事前計画段階から活用に至るまで、地域住民、阿賀野市、阿賀野川河川事務所(河川管理者)が連携・協力して実施 (平成30年3月24日設置)

- 日常時から水防災への意識を高める
- 浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等



発災時に命を守るための住民の主体的な避難行動を促す被害を最小限にとどめる



住民が、水害等災害発生時の自助・共助の重要性の再確認を目的とした「防災塾」を開催



想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)
上の青いテープの高さ
この場所は阿賀野川がはん濫すると4.0m浸水する可能性があります。



阿賀野市 / Agano city H30.03

阿賀野川の浸水想定
区域図はこちらから

